

2019年3月期 第3四半期決算短信〔米国基準〕（連結）

2019年1月30日

上場会社名 オムロン株式会社  
 コード番号 6645  
 代表者 役職名 代表取締役社長 CEO  
 氏名 山田 義仁  
 問合せ先責任者 役職名 執行役員 グローバル理財本部長  
 氏名 大上 高充  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無 (投資家向け)

上場取引所 東証 市場第一部  
 URL <http://www.omron.co.jp/>

TEL (075)344-7070

配当支払開始予定日 —

(百万円未満四捨五入)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	635,595	1.7	56,840	△12.0	52,634	△15.8	38,752	△17.0
2018年3月期第3四半期	624,853	9.9	64,623	38.9	62,510	41.8	46,673	52.4

(注1) 四半期包括利益 2019年3月期第3四半期 35,757百万円(△47.6%) 2018年3月期第3四半期 68,279百万円(138.6%)

(注2) 2018年3月期第3四半期の四半期連結損益計算書の組み替えを行っております。詳細につきましては、添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2019年3月期第3四半期	185	35	—	—
2018年3月期第3四半期	218	94	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	732,983	515,837	513,795	70.1
2018年3月期	744,952	507,386	505,530	67.9

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2018年3月期	—	—	38	00	—	—
2019年3月期	—	—	42	00	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	—	42	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	税引前当期純利益	当社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通期	855,000 △0.6	72,000 △16.5	68,000 △18.4	50,000 △20.8	239 73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無  
 連結業績予想の修正については、本日(2019年1月30日)公表いたしました「2019年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、連結業績予想における「営業利益」の対前期増減率は、会計方針の変更に伴い遡及修正を行ったため、遡及処理後の数値との比較によるものです。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有・無  
 新規 ー社 （社名） 除外 ー社 （社名）

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有・無

(3) 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有・無  
 ② ①以外の会計方針の変更：有・無

(注) 詳細は、添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2019年3月期3Q	213,958,172 株	2018年3月期	213,958,172 株
2019年3月期3Q	7,085,609 株	2018年3月期	3,352,916 株
2019年3月期3Q	209,077,834 株	2018年3月期3Q	213,180,406 株

(注) 2019年3月期第3四半期連結会計期間末において、役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託として保有する当社株式766,683株は、期末自己株式数に含めて記載しております。また、期中平均株式数には、1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益の算出において控除する自己株式として含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 当社は、米国会計基準に基づき連結損益計算書の表示形式としてシングルステップ方式（段階利益を表示しない方式）を採用していますが、他社との比較可能性を高めるため、当決算短信の「営業利益」は、「売上総利益」から「販売費及び一般管理費」、「試験研究開発費」を控除したものを表示しております。
- 当社は、2019年1月30日（水）に投資家向け説明会を開催する予定です。その模様および説明内容（音声）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

(注) 事業の種類別セグメントの名称を次のとおり略して記載しています。

IAB： インダストリアルオートメーションビジネス（制御機器事業）  
 EMC： エレクトロニック&メカニカルコンポーネントビジネス（電子部品事業）  
 AEC： オートモティブエレクトロニックコンポーネントビジネス（車載事業）  
 SSB： ソーシャルシステムズ・ソリューション&サービスビジネス（社会システム事業）  
 HCB： ヘルスケアビジネス（ヘルスケア事業）  
 その他： 環境事業、電子機器事業、バックライト事業など（本社直轄事業）

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(会計方針の変更)	P. 11
(セグメント情報)	P. 12
3. 補足情報	P. 13
(1) 連結業績概要	P. 13
(2) 連結セグメント別売上高実績	P. 14
(3) 連結セグメント別営業利益実績	P. 15
(4) 期中平均レート実績	P. 15
(5) 連結セグメント別売上高予想	P. 16
(6) 連結セグメント別営業利益予想	P. 16
(7) 期中平均レート予想	P. 16

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ○ 全般的概況

当第3四半期連結累計期間（2018年4月～12月）における当社グループの業績は、前年同期比で増収減益となりました。

売上高は、第3四半期（2018年10月～12月）において、米中貿易摩擦の影響などにより事業環境の悪化がグローバルに拡大し、主力のIAB（制御機器事業）やEMC（電子部品事業）が前年同期比で減少しました。一方で、第3四半期連結累計期間においては、HCB（ヘルスケア事業）などの成長が寄与し、前年同期比で増加しました。

営業利益は、将来の成長に向けて販管費や開発費を戦略的に増加させたことにより、第3四半期連結累計期間において前年同期比で減少しました。

当第3四半期連結累計期間の業績結果は以下のとおりです。

	2018年3月期 第3四半期連結累計期間	2019年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
売上高	6,249億円	6,356億円	+1.7%
売上総利益 (売上総利益率)	2,609億円 (41.7%)	2,648億円 (41.7%)	+1.5% (△0.1P)
営業利益 (営業利益率)	646億円 (10.3%)	568億円 (8.9%)	△12.0% (△1.4P)
税引前四半期純利益	625億円	526億円	△15.8%
当社株主に帰属する 四半期純利益	467億円	388億円	△17.0%
米ドル平均レート	111.7円	110.8円	△0.9円
ユーロ平均レート	127.9円	129.6円	+1.7円

(注) 2018年3月期第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書の組み替えを行っております。詳細につきましては、11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

#### ○ セグメント別の状況

##### IAB（制御機器事業）

	2018年3月期 第3四半期連結累計期間	2019年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	2,921億円	2,985億円	+2.2%
営業利益	552億円	489億円	△11.5%

##### <売上高の状況>

第3四半期において、米中貿易摩擦の影響を受けた製造業の設備投資の減速が広がり、売上高は前年同期比で減少しました。

第3四半期連結累計期間においては、スマートフォン関連・半導体投資の減速はあるものの、自動車業界の先進技術開発・高度生産投資への需要の拡大や食品業界を中心とした省人化ニーズの高まりによるロボット需要が堅調に推移し、さらに買収企業の業績が寄与したことから、売上高は前年同期比で増加しました。

##### <営業利益の状況>

成長のための営業人財や研究開発などへの投資拡大により、営業利益は前年同期比で大きく減少しました。

### EMC（電子部品事業）

	2018年3月期 第3四半期連結累計期間	2019年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	789億円	762億円	△3.4%
営業利益	111億円	70億円	△36.5%

(注) 経営管理区分の見直しにより、2019年3月期より、「その他事業」傘下の一部を「EMC」の事業セグメント等を含めて開示しております。これに伴い、2018年3月期を新管理区分に組み替えて表示しております。

#### <売上高の状況>

第3四半期において、米中貿易摩擦の影響を受けた中国の民生業界の需要の減少などにより、売上高は前年同期比で減少しました。

また、第3四半期連結累計期間においては、民生業界の需要は米州、欧州で好調に推移し、車載業界の需要は日本で堅調に推移しましたが、日本におけるアミューズメント業界の市場縮小や第3四半期における民生業界の需要の減少などを受けて、売上高は前年同期比で減少しました。

#### <営業利益の状況>

外部顧客および当社グループ事業への売上高の減少に加え、将来の成長を見据えた新商品開発や生産力の強化への投資により、営業利益は前年同期比で大きく減少しました。

### AEC（車載事業）

	2018年3月期 第3四半期連結累計期間	2019年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	976億円	991億円	+1.6%
営業利益	43億円	49億円	+15.5%

#### <売上高の状況>

当社製品を搭載した車種のモデルチェンジなどの影響により、米州、欧州、中国における需要は低調に推移しました。一方で、アジアにおいては、好調な自動車生産や二輪向け商品の需要増加により、好調に推移しました。

これらの需要の変化の結果、売上高は前年同期比で増加しました。

#### <営業利益の状況>

売上高の増加や収益性の改善などにより、営業利益は前年同期比で大きく増加しました。

### SSB（社会システム事業）

	2018年3月期 第3四半期連結累計期間	2019年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	357億円	399億円	+11.7%
営業利益（△損失）	△27億円	△14億円	—

(注) 2018年10月における経営管理区分の見直しにより、「その他事業」傘下の一部を「SSB」の事業セグメントに含めて開示しております。これに伴い、2018年3月期および当第2四半期連結累計期間を新管理区分に組み替えて表示しております。

#### <売上高の状況>

駅務システム事業や交通管制・道路管理システム事業の更新需要が堅調に推移し、需要に対応して顧客ニーズを踏まえたソリューション提案活動を実施しました。

これらの結果、売上高は前年同期比で大きく増加しました。

#### <営業利益の状況>

売上高の増加や収益性の改善により、損失額が前年同期比で減少しました。

### HCB（ヘルスケア事業）

	2018年3月期 第3四半期連結累計期間	2019年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	820億円	867億円	+5.7%
営業利益	102億円	112億円	+10.4%

#### <売上高の状況>

グローバルで血圧計の需要が堅調に推移したことに加え、中国、日本、米州を中心にオンラインチャネルでの販促強化などにより、売上は好調に推移しました。

これらの結果、売上高は前年同期比で増加しました。

#### <営業利益の状況>

成長のための研究開発投資を増加させる一方、売上高の増加と収益性の向上により、営業利益は前年同期比で大きく増加しました。

### その他事業（本社直轄事業）

	2018年3月期 第3四半期連結累計期間	2019年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	340億円	310億円	△8.8%
営業利益（△損失）	△6億円	△5億円	—

(注1) その他事業では、新規事業の探索・育成と、社内カンパニーに属さない事業の育成・強化を本社直轄で行っております。

(注2) 経営管理区分の見直しにより、2019年3月期より、「その他事業」傘下の一部を「EMC」の事業セグメント等を含めて開示しております。また、2018年10月における経営管理区分の見直しにより、「その他事業」傘下の一部を「SSB」の事業セグメントを含めて開示しております。これらに伴い、2018年3月期および当第2四半期連結累計期間を新管理区分に組み替えて表示しております。

#### <売上高の状況>

環境事業は、2018年7月豪雨の影響を受けた生産委託先の操業が完全復旧したことに加え、蓄電システムの需要が拡大し、好調に推移しました。バックライト事業は、事業の最適化を進めた結果、低調に推移しました。

これらの結果、売上高は前年同期比で減少しました。

#### <営業利益の状況>

環境事業の売上高の増加により、損失額が前年同期比で減少しました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ○ 財政状態

VG2.0では、持続的な企業価値向上に向けた投資を積極的に実行する一方、資本効率を重視したROIC経営を継続します。

当第3四半期連結会計期間末の資産の部は、たな卸資産が増加する一方で、受取手形及び売掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ120億円減少して、7,330億円となりました。また、負債の部は、未払費用や未払税金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ204億円減少して、2,171億円となりました。純資産の部は当社株主に帰属する四半期純利益の計上と株主還元の実行などにより、前連結会計年度末に比べ85億円増加して、5,158億円となりました。以上により、株主資本比率は前連結会計年度の67.9%から70.1%となり、積極投資や経営環境の変化に対応できる強固な財務体質が維持されています。

### ○ キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況については、次のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

四半期純利益や減価償却費の計上、売上債権の減少などにより443億円の収入(前年同期比20億円の収入減)となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

生産能力の増強や将来に向けた成長投資の実行による資本的支出などにより254億円の支出(前年同期比191億円の支出減)となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローから投資活動によるキャッシュ・フローを控除したフリーキャッシュ・フローは189億円となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払いや自己株式の取得などにより、344億円の支出(前年同期比117億円の支出増)となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第3四半期連結会計期間末残高は前連結会計年度末に比べ172億円減少し、958億円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期において米中貿易摩擦の影響がグローバルの製造業に広がり、第4四半期もこの状況が継続すると認識しています。そのため、IAB(制御機器事業)やEMC(電子部品事業)などの売上高の減少を見込み、通期業績予想を以下のとおり下方修正いたします。なお、第4四半期の前提為替レートは1米ドル108円、1ユーロ124円です。

業績予想は当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により異なる可能性があります。

	売上高	営業利益	税引前 当期純利益	当社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当社株主に帰属 する当期純利益
前回発表予想(A)	8,800億円	830億円	795億円	585億円	279円46銭
今回修正予想(B)	8,550億円	720億円	680億円	500億円	239円73銭
増減額(B-A)	△250億円	△110億円	△115億円	△85億円	—
増減率(%)	△2.8%	△13.3%	△14.5%	△14.5%	—
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	8,600億円	863億円	834億円	632億円	296円85銭

(注)前期実績における「営業利益」は、会計方針の変更に伴い遡及修正を行ったため、遡及処理後の数値です。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (2018年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
		%		%
(資産の部)				
流 動 資 産	437,385	58.7	422,710	57.7
現金及び現金同等物	113,023		95,816	
受取手形及び売掛金	174,065		155,767	
貸倒引当金	△ 1,117		△ 962	
たな卸資産	129,581		146,796	
その他の流動資産	21,833		25,293	
有 形 固 定 資 産	135,103	18.1	138,213	18.8
土 地	24,886		24,714	
建 物 及 び 構 築 物	145,389		140,837	
機 械 そ の 他	205,233		206,742	
建 設 仮 勘 定	10,063		14,693	
減価償却累計額	△ 250,468		△ 248,773	
投 資 そ の 他 の 資 産	172,464	23.2	172,060	23.5
の れ ん	38,705		40,594	
関 連 会 社 に 対 す る 投 資 及 び 貸 付 金	27,195		26,741	
投 資 有 価 証 券	29,016		27,486	
施 設 借 用 保 証 金	7,531		7,622	
繰 延 税 金	39,947		39,831	
そ の 他 の 資 産	30,070		29,786	
資 産 合 計	744,952	100.0	732,983	100.0

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (2018年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
		%		%
( 負債の部 )				
流 動 負 債	182,778	24.5	161,674	22.1
支払手形及び買掛金・未払金	93,792		88,961	
未 払 費 用	44,291		34,870	
未 払 税 金	6,414		1,162	
そ の 他 の 流 動 負 債	38,281		36,681	
繰 延 税 金	706	0.1	1,008	0.1
退 職 給 付 引 当 金	42,342	5.7	42,551	5.8
そ の 他 の 固 定 負 債	11,740	1.6	11,913	1.6
負債の部合計	237,566	31.9	217,146	29.6
( 純資産の部 )				
株 主 資 本	505,530	67.9	513,795	70.1
資 本 金	64,100	8.6	64,100	8.7
資 本 剰 余 金	99,588	13.4	100,067	13.7
利 益 準 備 金	19,940	2.7	21,729	3.0
そ の 他 の 剰 余 金	390,950	52.4	426,790	58.2
その他の包括利益(△損失)累計額	△ 49,359	△ 6.6	△ 60,375	△ 8.2
為 替 換 算 調 整 額	△ 3,176		△ 8,814	
退 職 年 金 債 務 調 整 額	△ 53,785		△ 51,676	
売却可能有価証券未実現損益	7,426		—	
デリバティブ純損益	176		115	
自 己 株 式	△ 19,689	△ 2.6	△ 38,516	△ 5.3
非 支 配 持 分	1,856	0.2	2,042	0.3
純資産の部合計	507,386	68.1	515,837	70.4
負債及び純資産合計	744,952	100.0	732,983	100.0

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	前第3四半期連結累計期間 〔 自 2017年4月1日 至 2017年12月31日 〕		当第3四半期連結累計期間 〔 自 2018年4月1日 至 2018年12月31日 〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比
売 上 高	624,853	100.0	635,595	100.0
売 上 原 価	364,000	58.3	370,794	58.3
売 上 総 利 益	260,853	41.7	264,801	41.7
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	154,220	24.7	163,730	25.8
試 験 研 究 開 発 費	42,010	6.7	44,231	7.0
営 業 利 益	64,623	10.3	56,840	8.9
そ の 他 費 用 - 純 額 -	2,113	0.3	4,206	0.6
税 引 前 四 半 期 純 利 益	62,510	10.0	52,634	8.3
法 人 税 等	16,335	2.6	13,155	2.1
持 分 法 投 資 損 益 ( △ 利 益 )	△ 881	△ 0.1	74	0.0
四 半 期 純 利 益	47,056	7.5	39,405	6.2
非 支 配 持 分 帰 属 損 益	383	0.0	653	0.1
当 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 利 益	46,673	7.5	38,752	6.1

(注) 2018年3月期第3四半期の四半期連結損益計算書の組み替えを行っております。  
詳細につきましては、11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第3四半期連結累計期間 〔 自 2017年4月1日 至 2017年12月31日 〕	当第3四半期連結累計期間 〔 自 2018年4月1日 至 2018年12月31日 〕
		金 額	金 額
四 半 期 純 利 益		47,056	39,405
その他の包括利益（△損失）－税効果考慮後 為 替 換 算 調 整 額		15,681	△ 5,696
退 職 年 金 債 務 調 整 額		1,755	2,109
売却可能有価証券未実現損益		4,021	—
デ リ バ テ ィ ブ 純 損 益		△ 234	△ 61
その他の包括利益（△損失）計		21,223	△ 3,648
四 半 期 包 括 利 益		68,279	35,757
(内訳)			
非支配持分に帰属する四半期包括利益		535	595
当社株主に帰属する四半期包括利益		67,744	35,162

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別		前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間	
			〔 自 2017年4月1日 至 2017年12月31日 〕		〔 自 2018年4月1日 至 2018年12月31日 〕	
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>						
1. 四 半 期 純 利 益			47,056			39,405
2. 営業活動によるキャッシュ・フローと 四半期純利益の調整						
(1) 減 価 償 却 費		21,390		22,507		
(2) 固定資産除売却損(純額)		197		10		
(3) 長期性資産の減損		139		92		
(4) 事業売却損(△益)		14		△ 37		
(5) 投資有価証券評価損(純額)		—		1,900		
(6) 退職給付引当金		2,088		3,861		
(7) 繰延税金		225		△ 2,000		
(8) 持分法投資損益(△利益)	△	881		74		
(9) 資産・負債の増減						
① 受取手形及び売掛金の減少		12,092		15,404		
② たな卸資産の増加	△	27,420		△ 20,665		
③ その他の資産の増加	△	5,545		△ 647		
④ 支払手形及び買掛金・未払金の減少	△	861		△ 4,657		
⑤ 未払税金の減少	△	2,870		△ 5,218		
⑥ 未払費用及びその他流動負債の増加(△減少)		14		△ 6,875		
(10) その 他 (純額)		669	△ 749	1,121		4,870
営業活動によるキャッシュ・フロー			46,307			44,275
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>						
1. 投資有価証券の売却による収入		811		432		
2. 投資有価証券の取得	△	616		△ 389		
3. 資本的支出	△	23,839		△ 27,152		
4. 施設借用保証金の増加(純額)	△	365		△ 78		
5. 有形固定資産の売却による収入		373		2,217		
6. 事業売却(現金流出額との純額)	△	427		△ 21		
7. 事業買収(現金取得額との純額)	△	20,466		△ 830		
8. その 他 (純額)		70		454		
投資活動によるキャッシュ・フロー			△ 44,459			△ 25,367
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>						
1. 短期債務の増加(純額)		777		1,494		
2. 親会社の支払配当金	△	15,378		△ 16,776		
3. 非支配株主への支払配当金	△	215		△ 343		
4. 自己株式の取得	△	7,935		△ 18,847		
5. その 他 (純額)		34		93		
財務活動によるキャッシュ・フロー			△ 22,717			△ 34,379
<b>IV 換算レート変動の影響</b>			1,503			△ 1,736
現金及び現金同等物の増減額			△ 19,366			△ 17,207
期首現金及び現金同等物残高			126,026			113,023
四半期末現金及び現金同等物残高			106,660			95,816
営業活動によるキャッシュ・フローの追記						
1. 支払利息の支払額		104		350		
2. 法人税等の支払額		18,786		20,226		
キャッシュ・フローを伴わない投資及び財務活動の追記						
1. 資本的支出に関連する債務		908		2,854		

#### (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当第1四半期連結会計期間よりFASB会計基準更新第2014-09「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。当会計基準更新は、財務諸表の利用者の、顧客との契約から生じる収益とキャッシュ・フローの性質、取引量、取引タイミング、そして取引の不確実性についての理解に資するための、定量的・定性的情報の開示を要求しております。当会計基準更新の適用による期首その他の剰余金への累積影響額に重要性はありません。

当第1四半期連結会計期間よりFASB会計基準更新第2016-01「金融資産および金融負債の認識および測定」およびFASB会計基準更新第2018-03「金融資産および金融負債の認識および測定に対する技術的修正および改善」を適用しております。当会計基準更新は、持分証券の分類および測定、また、公正価値で評価される一部の金融負債の公正価値変動の表示の改訂を要求しております。さらに、当会計基準更新は、一部の金融商品の公正価値に関する開示の改訂を要求しております。当会計基準更新の適用による当社および子会社への影響のうち、売却可能有価証券について、その他の包括利益累計額として認識していた税効果調整後の未実現利益7,426百万円を期首その他の剰余金への累積影響額として調整しております。また、市場性のない持分証券について、224百万円を期首その他の剰余金への累積影響額として調整しております。

当第1四半期連結会計期間よりFASB会計基準更新第2017-07「期間年金費用および期間退職後給付費用の表示の改善」を適用しております。当会計基準更新は、期間年金費用および期間退職後給付費用につき、勤務費用とそれ以外の要素に区分し、勤務費用については他の人件費と同じ損益計算書項目に表示し、勤務費用以外の構成要素については、勤務費用から区分して表示することを要求しております。また、期間年金費用および期間退職後給付費用のうち、勤務費用のみが棚卸資産等への資産計上が認められます。当会計基準更新のうち、勤務費用とそれ以外の要素に区分表示する規定は遡及適用され、資産計上が認められる費用を勤務費用に限定する規定は将来に向かって適用されます。

当社は、この基準を2018年4月1日より開始する第1四半期より適用しております。勤務費用とそれ以外の要素に区分表示する規定の適用により、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書上、売上原価から95百万円、販売費及び一般管理費から120百万円、試験研究開発費から43百万円を「その他費用－純額－」に組み替えて表示しております。前第3四半期連結累計期間の売上総利益、営業利益はそれぞれ組み替え前と比較して95百万円、258百万円増加しております。なお、資産計上が認められる費用を勤務費用に限定する規定の適用が、当社および子会社への経営成績および財政状態に与える重要な影響はありません。

(セグメント情報)

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

(単位: 百万円)

	IAB	EMC	AEC	SSB	HCB	その他	計	消去調整他	連結
売 上 高									
(1)外部顧客に対する売上高	292,053	78,854	97,553	35,689	82,033	34,029	620,211	4,642	624,853
(2)セグメント間の内部売上高	4,863	43,582	1,382	3,544	202	5,818	59,391	△ 59,391	—
計	296,916	122,436	98,935	39,233	82,235	39,847	679,602	△ 54,749	624,853
営 業 費 用	241,674	111,367	94,660	41,964	72,055	40,473	602,193	△ 41,963	560,230
営業利益 (△ 損失)	55,242	11,069	4,275	△ 2,731	10,180	△ 626	77,409	△ 12,786	64,623

(注1) 経営管理区分の見直しにより、2019年3月期より、「その他」傘下の一部を「EMC」の事業セグメントおよび「消去調整他」に含めて開示しております。これに伴い、前第3四半期連結累計期間を新管理区分に組み替えて表示しております。また、2018年10月における経営管理区分の見直しにより、「その他」傘下の一部を「SSB」の事業セグメントに含めて開示しております。以上により、前第3四半期連結累計期間を新管理区分に組み替えて表示しております。

(注2) 2018年3月期第3四半期の四半期連結損益計算書の組み替えを行っております。組み替え額については「消去調整他」に含めて開示しております。詳細につきましては、11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

(単位: 百万円)

	IAB	EMC	AEC	SSB	HCB	その他	計	消去調整他	連結
売 上 高									
(1)外部顧客に対する売上高	298,544	76,212	99,144	39,865	86,706	31,047	631,518	4,077	635,595
(2)セグメント間の内部売上高	4,880	42,318	309	3,948	167	5,776	57,398	△ 57,398	—
計	303,424	118,530	99,453	43,813	86,873	36,823	688,916	△ 53,321	635,595
営 業 費 用	254,515	111,501	94,516	45,191	75,633	37,327	618,683	△ 39,928	578,755
営業利益 (△ 損失)	48,909	7,029	4,937	△ 1,378	11,240	△ 504	70,233	△ 13,393	56,840

(注) 2018年10月における経営管理区分の見直しにより、「その他」傘下の一部を「SSB」の事業セグメントに含めて開示しております。以上により、当第2四半期連結累計期間を新管理区分に組み替えて表示しております。

[所在地別売上高]

前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

(単位: 百万円)

	IAB	EMC	AEC	SSB	HCB	その他	計	消去調整他	連結
主たる地域市場 (外部顧客)									
日本	112,675	19,372	12,575	35,252	19,745	26,889	226,508	3,961	230,469
米州	24,860	12,763	31,000	—	18,060	—	86,683	—	86,683
欧州	56,118	12,065	2,108	—	15,740	—	86,031	—	86,031
中華圏	59,381	23,809	21,727	70	20,054	6,808	131,849	—	131,849
東南アジア他	38,694	10,740	24,572	—	8,173	—	82,179	—	82,179
直接輸出	325	105	5,571	367	261	332	6,961	681	7,642
計	292,053	78,854	97,553	35,689	82,033	34,029	620,211	4,642	624,853

当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

(単位: 百万円)

	IAB	EMC	AEC	SSB	HCB	その他	計	消去調整他	連結
主たる地域市場 (外部顧客)									
日本	117,634	16,829	13,348	39,379	19,556	25,708	232,454	3,370	235,824
米州	26,796	13,694	29,028	—	17,743	—	87,261	—	87,261
欧州	59,630	13,135	1,573	—	16,962	—	91,300	—	91,300
中華圏	61,312	23,618	18,795	110	23,800	5,246	132,881	—	132,881
東南アジア他	32,905	8,878	31,744	—	8,160	—	81,687	—	81,687
直接輸出	267	58	4,656	376	485	93	5,935	707	6,642
計	298,544	76,212	99,144	39,865	86,706	31,047	631,518	4,077	635,595

(注) 日本以外の区分に属する主な国または地域

- (1) 米州……………米国・カナダ・ブラジル・メキシコ
- (2) 欧州……………オランダ・英国・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン
- (3) 中華圏……………中国・香港・台湾
- (4) 東南アジア他……シンガポール・韓国・インド・豪州

### 3. 補足情報

#### (1) 連結業績概要

		第3四半期累計			通期		
		2018年3月期 第3四半期	2019年3月期 第3四半期	前年同期比	2018年3月期	2019年3月期 予想	前期比
売上高	百万円	624,853	635,595	101.7%	859,982	855,000	99.4%
営業利益 (率)	百万円 (%)	64,623 (10.3%)	56,840 (8.9%)	88.0% (△1.4P)	86,254 (10.0%)	72,000 (8.4%)	83.5% (△1.6P)
税引前四半期(当期)純利益 (率)	百万円 (%)	62,510 (10.0%)	52,634 (8.3%)	84.2% (△1.7P)	83,367 (9.7%)	68,000 (8.0%)	81.6% (△1.7P)
当社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	百万円	46,673	38,752	83.0%	63,159	50,000	79.2%
1株当たり当社株主に 帰属する四半期(当期)純利益	円 銭	218円94銭	185円35銭	△33円59銭	296円85銭	239円73銭	△57円12銭
総資産	百万円	742,676	732,983	98.7%	744,952		
株主資本 (株主資本比率)	百万円 (%)	521,036 (70.2%)	513,795 (70.1%)	98.6% (△0.1P)	505,530 (67.9%)		
1株当たり株主資本	円 銭	2,453円37銭	2,483円63銭	+30円26銭	2,400円37銭		
営業活動による キャッシュ・フロー	百万円	46,307	44,275	△2,032	73,673		
投資活動による キャッシュ・フロー	百万円	△44,459	△25,367	+19,092	△55,842		
財務活動による キャッシュ・フロー	百万円	△22,717	△34,379	△11,662	△33,082		
現金及び現金同等物 四半期末(期末)残高	百万円	106,660	95,816	△10,844	113,023		

(注1) 連結子会社数は155社、持分法適用関連会社数は17社です。

(注2) 2018年3月期第3四半期累計期間および2018年3月期通期の連結損益計算書の組み替えを行っております。詳細につきましては、11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(2) 連結セグメント別売上高実績

(単位：億円)

		2018年3月期 第3四半期累計	2019年3月期 第3四半期累計	前年同期比
IAB	日本	1,127	1,176	104.4%
	米州	249	268	107.8%
	欧州	561	596	106.3%
	中華圏	594	613	103.3%
	東南アジア他	387	329	85.0%
	直接輸出	3	3	82.2%
	計	2,921	2,985	102.2%
EMC	日本	194	168	86.9%
	米州	128	137	107.3%
	欧州	121	131	108.9%
	中華圏	238	236	99.2%
	東南アジア他	107	89	82.7%
	直接輸出	1	1	55.2%
	計	789	762	96.6%
AEC	日本	126	133	106.1%
	米州	310	290	93.6%
	欧州	21	16	74.6%
	中華圏	217	188	86.5%
	東南アジア他	246	317	129.2%
	直接輸出	56	47	83.6%
	計	976	991	101.6%
SSB	日本	353	394	111.7%
	米州	—	—	—
	欧州	—	—	—
	中華圏	1	1	157.1%
	東南アジア他	—	—	—
	直接輸出	4	4	102.5%
	計	357	399	111.7%
HCB	日本	197	196	99.0%
	米州	181	177	98.2%
	欧州	157	170	107.8%
	中華圏	201	238	118.7%
	東南アジア他	82	82	99.8%
	直接輸出	3	5	185.8%
	計	820	867	105.7%
その他	日本	269	257	95.6%
	米州	—	—	—
	欧州	—	—	—
	中華圏	68	52	77.1%
	東南アジア他	—	—	—
	直接輸出	3	1	28.0%
	計	340	310	91.2%
消去調整他	日本	40	34	85.1%
	米州	—	—	—
	欧州	—	—	—
	中華圏	—	—	—
	東南アジア他	—	—	—
	直接輸出	7	7	103.8%
	計	46	41	87.8%
合計	日本	2,305	2,358	102.3%
	米州	867	873	100.7%
	欧州	860	913	106.1%
	中華圏	1,318	1,329	100.8%
	東南アジア他	822	817	99.4%
	直接輸出	76	66	86.9%
	計	6,249	6,356	101.7%

(注) 経営管理区分の見直しにより、2019年3月期より、「その他」傘下の一部を「EMC」の事業セグメント及び「消去調整他」に含めて開示しております。  
 以上により、2018年3月期を新管理区分に組み替えて表示しております。  
 また、2018年10月における経営管理区分の見直しにより、「その他」傘下の一部を「SSB」の事業セグメントに含めて開示しております。  
 以上により、2018年3月期および当第2四半期連結累計期間を新管理区分に組み替えて表示しております。

(3) 連結セグメント別営業利益実績

(単位：億円)

	2018年3月期 第3四半期累計	2019年3月期 第3四半期累計	前年同期比
IAB	552	489	88.5%
EMC	111	70	63.5%
AEC	43	49	115.5%
SSB	△ 27	△ 14	—
HCB	102	112	110.4%
その他	△ 6	△ 5	—
消去調整他	△ 128	△ 134	—
合計	646	568	88.0%

(注1) 経営管理区分の見直しにより、2019年3月期より、「その他」傘下の一部を「EMC」の事業セグメント及び「消去調整他」に含めて開示しております。  
 以上により、2018年3月期を新管理区分に組み替えて表示しております。  
 また、2018年10月における経営管理区分の見直しにより、「その他」傘下の一部を「SSB」の事業セグメントに含めて開示しております。  
 以上により、2018年3月期および当第2四半期連結累計期間を新管理区分に組み替えて表示しております。

(注2) 2018年3月期第3四半期の四半期連結損益計算書の組み替えを行っております。組み替え額については「消去調整他」に含めて開示しております。詳細につきましては、11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 期中平均レート実績

(1外貨当たり 円)

	2018年3月期 第3四半期累計	2019年3月期 第3四半期累計	前年同期比
米ドル	111.7	110.8	△0.9
ユーロ	127.9	129.6	+1.7

(5) 連結セグメント別売上高予想

(単位：億円)

	2018年3月期	2019年3月期 予想	前期比
IAB	3,961	3,900	98.5%
EMC	1,044	990	94.9%
AEC	1,312	1,300	99.1%
SSB	703	760	108.1%
HCB	1,085	1,155	106.5%
その他	444	400	90.1%
消去調整他	52	45	87.0%
合計	8,600	8,550	99.4%

(注) 経営管理区分の見直しにより、2019年3月期より、「その他」傘下の一部を「EMC」の事業セグメント及び「消去調整他」に含めて開示しております。  
また、2018年10月における経営管理区分の見直しにより、「その他」傘下の一部を「SSB」の事業セグメントに含めて開示しております。  
以上により、2018年3月期を新管理区分に組み替えて表示しております。

(6) 連結セグメント別営業利益予想

(単位：億円)

	2018年3月期	2019年3月期 予想	前期比
IAB	740	610	82.5%
EMC	125	85	68.1%
AEC	58	60	103.2%
SSB	48	60	124.4%
HCB	112	130	116.0%
その他	△ 12	△ 10	—
消去調整他	△ 209	△ 215	—
合計	863	720	83.5%

(注1) 経営管理区分の見直しにより、2019年3月期より、「その他」傘下の一部を「EMC」の事業セグメント及び「消去調整他」に含めて開示しております。  
また、2018年10月における経営管理区分の見直しにより、「その他」傘下の一部を「SSB」の事業セグメントに含めて開示しております。  
以上により、2018年3月期を新管理区分に組み替えて表示しております。

(注2) 2018年3月期通期の連結損益計算書の組み替えを行っております。組み替え額については「消去調整他」に含めて開示しております。詳細につきましては、11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(7) 期中平均レート予想

(1外貨当たり 円)

	2018年3月期	2019年3月期 予想	前期比
米ドル	111.2	110.1	△1.1
ユーロ	129.4	128.2	△1.2